

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	13 日	記入者	神野一美	
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田	

文化財名	桜本坊のギンモクセイ					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1967年(昭和42)11月25日					
所在地	吉野郡吉野町吉野山					
所有者 管理者	桜本坊(さくらもとぼう)					
員数	1株					
時代区分						
樹木の場合	(樹木名) ギンモクセイ			(樹齢) 350年(推定)		
案内板の状況	無し					
公開	桜本坊の開門時間内なら見学自由					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	寺(桜本坊)の境内にあるため手入れは行き届いており、特に問題はないと思われる。					
今後の課題	管理が行き届いているため特になし。全国には樹齢400年、500年、あるいは800年と推定されるギンモクセイもあるため、この木もますます樹齢を重ねていって欲しい。					
その他 (由緒など)	インターネットの植物図鑑より:ギンモクセイは一般的には、高さ3~6mの常緑小高木、葉は枝から対になっており、革質で厚みあり、葉の周囲は細かい鋸歯状か全縁 花は白、花期は9~10月 樹皮が動物の犀に似ていることから、漢字では「銀木犀」と表記 桜本坊のギンモクセイは幹回:2.0m、樹高:8m、樹齢:350年(推定)、葉は鋸歯状が確認できず。					
コメント	桜本坊は金峯山修験本宗別格本山。本尊は鎌倉時代の木造彩色役行者倚像で重要文化財。大峯山護持院の一つでもあり、修験道の祖と言われる役行者像が境内にも見受けられる。本寺院の名前の由来にもなった、大海人皇子の伝説でゆかりの「夢見の桜」があり、満開の桜も見事に違いないが、ギンモクセイが匂いを放つ時期に再訪したいものである。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	3 月	13 日	記入者	神野一美	
調査者名	亀田	神野	鈴木	東辻	前田	

文化財名	桜本坊のギンモクセイ
------	------------

ギンモクセイ全体	枝分かれ
----------	------



「天然記念物銀木犀」の札がある

ギンモクセイの葉



桜本坊の説明板

桜本坊の山門

